

---

九州運輸局メールマガジン 平成 30 年 5 月 24 日 第 384 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 30 年 6 月 7 日（木）です。

---

## ■ 目次

### 1 現場レポート

◆「宮崎みなとまつり 2018」が開催される

～クルーズ客船の魅力と内航海運の役割をPR～

◆北九州港のニューフェイス、全員集合！

～北九州港オリエンテーション開催～

### 2 お知らせ

◆不正改造は犯罪です！

～6月は「不正改造車を排除する運動」の強化月間です～

◆平成 30 年度 九州運輸局管内整備管理者選任前研修（前期）日程について

◆地方版図柄入りナンバープレート、41 地域デザイン公表！

～対象車種は登録車（自家用、事業用）、軽自動車（二輪を除く自家用）で 2018 年 10 月頃から交付開始予定 ～

### 3 運輸安全推進室だより Vol4

◆なぜなぜ分析による原因の究明

～各視点から幅広く「なぜ」を考えてみましょう～

### 4 九州運輸局ホームページアップ情報

◆報道発表

◆お知らせ

◆更新情報

---

## 1 現場レポート

---

◆「宮崎みなとまつり 2018」が開催される

～クルーズ客船の魅力と内航海運の役割をPR～

◎5月5日（土）の「こどもの日」に、宮崎港の国際観光船バースにおいて、宮崎みなとまつり実行委員会（宮崎市）主催による「宮崎みなとまつり 2018」が開催され、宮崎運輸支局もテーマ館に出展しました。

#### ◇内容

・「宮崎みなとまつり」は今年で5回目の開催となり、県内外の皆様に「宮崎港」を広くPRし、「宮崎港」の利用促進及び観光客の誘客につなげることを目的に開催されました。

・会場では、カーフェリーによる体験航海や様々なステージイベントが行われ、海洋研究開発機構の有人潜水調査船「しんかい 6500」や支援母船「よこすか」などが一般公開されました。

・宮崎運輸支局では「クルーズ客船」の魅力や「内航海運」の重要性を広く周知し、人材育成につなげるため、テーマ館に出展し、クルーズ客船のパンフレットや貨物船のペーパークラフトを配布して大人から子供たちまで船への関心や興味を持っていただくことができました。

#### ◇九州運輸局からのメッセージ

今後も各種イベントの開催時に併せ、クルーズ客船の振興や内航海運の役割等を広くPRし、海の大切さや海事産業の重要性を周知し、長期的には海事産業における労働者不足の対応策のひとつとして、今後も積極的に取り組んでいきます。

◇宮崎みなとまつり 2018 の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_384\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_384_1.pdf)

---

#### ◆北九州港のニューフェイス、全員集合！

～北九州港オリエンテーション開催～

◎福岡運輸支局門司港庁舎では、4月26日、27日に開催された「北九州港オリエンテーション」に参加し、北九州市内の海事関連企業に就職した新人社員ら約150人を対象に「九州運輸局の仕事と役割」について説明を行いました。

#### ◇内容

北九州港オリエンテーションは、(一社)北九州港振興協会が会員企業に就職した新人社員等を対象に、海事や港湾業務の基礎を学ぶことを目的として平成5年から毎年開催されているものです。

26回目を迎えた今年は北九州市門司区のプレミアムホテル門司港で開催され、海事関係官公庁等6機関の講師による講義のほか現地視察等も行われました。

当運輸支局は、旅客船、内航海運、港湾運送、倉庫、造船など海事産業を紹介したDVDの視聴と九州運輸局のパンフレット等を使用して組織や役割、重点施策について45分間の説明を行いました。

#### ◇福岡運輸支局門司港庁舎からのメッセージ

福岡運輸支局では海事思想の普及や海事産業の周知に関する活動も行っています。今後もこのような活動を通じて港の発展につながるよう取り組んでまいります。

◇北九州港オリエンテーションの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_384\\_2.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_384_2.pdf)

---

## 2 お知らせ

#### ◆不正改造は犯罪です！

～6月は「不正改造車を排除する運動」の強化月間です～

自動車は、生活に欠かせない移動手段となっているのみならず、娯楽の道具としても認識されており、様々な部品等が販売され、手軽に取付等ができる状況にあります。

しかしながら、①灯火の色が不適切な灯火器及び回転灯等の取り付け、②運転者席・助手席の窓ガラスへの着色フィルムの貼付け、③タイヤ、ホイールの車体（フェン

ダー)外へのはみ出し、④基準外ウイング(エア・スポイラ)の取り付け、⑤基準不適合マフラーの装着等の不正改造を施された車両が存在し、国民生活の安全・安心を脅かしていることが問題となっております。

これらについては、それぞれ①周囲の交通に誤認を与える、②運転者の視界を妨げ状況確認が困難となる、③歩行者に危険を及ぼすとともに車体やブレーキ機構への干渉により故障・事故の原因となる、④他の交通の妨げとなる、⑤周囲に騒音をまき散らすことが懸念されるため、禁止されております。

国土交通省では、これら不正改造を排除し、車両の安全確保及び環境保全を図るため、関係省庁、自動車関係団体等と協力して、「不正改造車を排除する運動」を全国的に展開しており、特に6月を強化月間として重点的な取組を行っております。皆様もぜひ、この機会にどのような改造が不正改造になるのかについての理解を深めていただき、その排除にご協力下さい。

詳しい情報はこちらから「[www.tenken-seibi.com](http://www.tenken-seibi.com)」

不正改造車を見かけたら、下記まで情報をお寄せ下さい。

「不正改造車・黒煙110番」 092-472-2537

(国土交通省九州運輸局 自動車技術安全部 整備課)

九州各県における相談窓口一覧(不正改造車・黒煙110番)

福岡運輸支局整備部門	092-673-1196(音声ガイダンスにて3番)
佐賀運輸支局整備部門	0952-30-7274(音声ガイダンスにて4番)
長崎運輸支局整備部門	095-839-4749
熊本運輸支局整備部門	096-369-3130(音声ガイダンスにて2番)
大分運輸支局整備部門	097-558-2577(音声ガイダンスにて2番)
宮崎運輸支局整備部門	0985-51-3958(音声ガイダンスにて2番-1番)
鹿児島運輸支局整備部門	099-261-9194

◆平成30年度九州運輸局管内整備管理者選任前研修(前期)日程について

九州運輸局では、整備管理者の資格要件として国土交通省で定める整備管理者選任前研修を実施します。なお、受講を希望される方は申し込みが必要となりますので、最寄りの運輸支局へお問い合わせ下さい。(5月24日現在での情報を掲載しています。)

◇詳細は、こちらのURLからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/00001\\_00126.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/00001_00126.html)

◆地方版図柄入りナンバープレート、41地域デザイン公表!

～対象車種は登録車(自家用、事業用)、軽自動車(二輪を除く自家用)で2018年10月頃から交付開始予定～

国土交通省では、地域交通の改善や観光振興に活用することを目的に始まった「ご当地ナンバー」や「ラグビーナンバー」、「オリンピック・パラリンピックナンバー」に加え、さらなる多角的な活用を推進するため、「地方版図柄入りナンバープレート」の交付を開始いたします。

◇図柄等詳細は、こちらのURLからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/00001\\_00129.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/00001_00129.html)

---

### 3 運輸安全推進室だより

---

- ・「なぜなぜ分析」は、発生した事故に焦点を当て、その事故を発生させる原因を、順序を追って「なぜ」「なぜ」と考えることで、もれなくつかむ分析方法です。
- ・「なぜなぜ分析」には、分析結果が比較的に見やすく、初めて分析に取り組む人でもわかりやすい、特定の原因を深く掘り下げて分析できる、考えた過程を図に残して、後で考え方の特徴等を検証できる（相手が悪いと考えるくせがある、等）といったメリットがあります。

◇図解入りの詳しい説明は下記をご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_384\\_4.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_384_4.pdf)

---

### 4 九州運輸局ホームページアップ情報

---

--- ◆報道発表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- ◆お知らせ

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- ◆更新情報

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部だより //

4月からの新コーナーでは、「運輸安全推進室だより」としてお話をさせてもらっていますが、この中で紹介する「運輸安全マネジメント」は、企業が提供する製品やサービスの生産過程、品質管理の国際規格であるISO9000を参考として作られたものであり、運輸事業者の生み出す製品は「安全」と位置づけ、その品質を管理するためにP（計画）D（実行）C（チェック）A（見直し・改善）サイクルに基づく品質管理体制が適切に構築され、有効に機能しているかどうかを検証するものです。

そういう意味では、この取組は運輸事業者に限らず活用出来るものとなっています。例えば、観光事業での品質は「サービス」、製造業であれば「製品」と位置づけ、「事故」に該当するものはそれぞれ、「お客様の苦情」、「欠陥商品」と考えれば、その取組は「顧客満足の向上」といった結果につながると思います。

いろいろな研修に参加してみますと、経営管理の上杉鷹山、指導者としての山本五十六、五常講の二宮金次郎と各種マネジメントにかかるオススメ本として紹介されることもあります。この「運輸安全マネジメント」においても自社の品質管理活動の指標として活用していただければ幸いです。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

---

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

Mail: [gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp](mailto:gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

---